

1 40点

(例) 資料によれば、まず救急車の現場への到着時間が年々延びていることがわかりました。119番通報では、通信指令室への連絡後、消防署に救急車の出動指令が出されます。そのため、急病人やけが人が発見されてから救急車が到着するまでにかかなり時間がかかります。しかも救急車の出動件数も年々増えており、平成20年以降はそのはん送された人の約半数が65歳以上の高れい者です。

今後超高れい社会が進むと、救急車の出動件数も増えると予想されます。救急はん送に時間がかかると助かるはずの命も助からなくなるかもしれず、対策を考えていくことが大切です。

2 40点

問1 イ

問2 エ

問3 昔に比べて増えている

問4 (例) その90%をプラスチックが占め、木や他のごみを大きく引き離しています

問5 (例) 植物のくきで作ったストローをくり返し使うことや、買い物をするときにレジ袋の使用をやめること

3 70点

問1 (1) あ、3 イ、2014 う、2015 え、アジア

(2) (例) 文字だけでなくピクトグラムのような絵を用いたり、色を変化させたりすることで使い方ができることを示すとよい。

問2 (1) イ

(2) 14490000×0.467

(3) (例) 自分の知りたい情報については検索してすぐ知ることができるが、誰でも書き換えられるために誤った情報の可能性がある。

問3 (1) ウ

(2) 介護ロボットの価格を下げ、なおかつその安全性を高めること。

問4 (例) 情報リテラシーや生身の人間同士のコミュニケーション能力を身につけたい。世界が高速インターネット網でつながれば、今以上に様々な情報が飛び交う。そんなとき、情報を見きわめることが正しい行動につながるからである。また、ネットでのつながりが増え、AIの発達でロボットの介在が当たり前になるようなら、逆に生身の人間関係を大切にしたい。人の営みをただの情報処理にするのではなく、人同士の心の交流が必要だと考えるからである。